

地域医療支援病院業務報告書

令和6年9月30日

静岡市保健所長 田中 一成 様

所在地 静岡市葵区追手町 10 番 93 号

開設者 名称 地方独立行政法人
静岡市立静岡病院

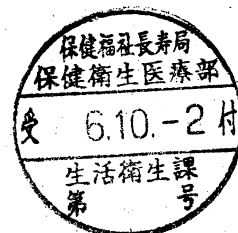
代表者の氏名 理事長 小野寺 知



(代表者の氏名を自署する場合は、押印は不要であること。)

令和5年度の業務について、次のとおり医療法第12条の2第1項の規定により報告します。

- 1 地域医療支援病院の名称
- 2 開設の場所
- 3 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績
- 4 共同利用の実績
- 5 救急医療の提供の実績
- 6 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績
- 7 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
- 8 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 9 医療法施行規則第9条の19第1項の委員会の開催の実績
- 10 患者相談の実績



別紙1 地域医療支援病院の名称及び開設の場所

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒420-8630 静岡県葵区追手町10番93号
氏名	地方独立行政法人 静岡市立静岡病院 理事長 小野寺 知哉

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 地域医療支援病院の名称

静岡市立静岡病院

3 所在の場所

〒420-8630 静岡県葵区追手町10番93号	電話 (054) 253-3125
-----------------------------	-------------------

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
床	6床	床	床	500床	506床

5 施設の構造設備

施設名	静岡市立静岡病院
集中治療室	(主な設備) 病床数 ICU: 8床、HCU: 30床
化学検査室	(主な設備) 生科学自動分析装置、電解質測定装置、免疫測定装置、グルコヘモグロビン測定装置 他
細菌検査室	(主な設備) 同定機器、血液培養機器、遺伝子機器 他
病理検査室	(主な設備) 全自動免疫染色システム、自動固定包埋装置、自動染色装置 他
病理解剖室	(主な設備) 解剖台、電動のこぎり 他
研究室	(主な設備) パソコン、カルテ端末、レーザープリンター 他
講義室	室数 6 室 (講堂、第 1 会議室、11B 会議室、11C 会議室、12B 会議室、多目的室)
図書室	職員用 2 室 蔵所数 15,100冊程度 患者用 1 室 蔵書数 1,600冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	保有台数 1 台 (主な設備) 除細動器、酸素ボンベ、シリンジポンプ、心電図モニター、簡易方進行呼吸器、ペースメーカー 他
医薬品情報管理室	床面積11.43㎡ DI 室

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

別紙2 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

(他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績)

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院 紹介率		90.8%	算定 期間	令和5年 4月 1日～ 令和6年 3月31日	
地域医療支援病院 逆紹介率		153.5%			
算出 根拠	A：紹介患者の数			14,856人	
	B：初診患者の数			16,358人	
	C：逆紹介患者の数			25,117人	

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

別紙 3 共同利用の実績

(地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用(共同利用)のための体制が整備されていることを証する書類)

1 共同利用の実績

- (1) 病床の共同利用
医療機関の延べ数313施設
うち開設者と直接関係ない医療機関の延べ数313施設
- (2) 医療機関の共同利用
医療機関の延べ数325施設
うち開設者と直接関係ない医療機関の延べ数
CT: 113施設、MRI: 117施設、RI: 34施設、膀胱鏡: 33施設
前立腺生検: 8施設、その他: 20施設
- (3) 合計 医療機関の延べ数638施設
うち開設者と直接関係ない医療機関の延べ数582施設
- (4) 共同利用に係る病床の病床利用率…17.9%

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

- (1) 共同利用病床数 20床
- (2) 分娩室
- (3) 手術室
- (4) 心臓カテーテル室
- (5) 血液検査室
各種血液検査、血液ガス分析など
- (6) 生理検査室
心臓エコー、パルスドップラーエコー、連続波ドップラーエコー、カラードップラーエコー、呼吸機能検査、脳波、筋電図
- (7) 放射線検査室
CT、MRI、RI、DIP、マンモグラフィー、リニアック
- (8) 内視鏡検査室
気管支鏡、胃及び大腸内視鏡検査、膀胱鏡、前立腺生検
- (9) 会議室等
医師会登録医控室、図書室

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

- ア 共同利用に関する規定の有無 ☒ 有・無
- イ 利用医師等登録制度の担当者 氏 名: 小野寺 知哉
職 種: 医師

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
登録医療機関 (1) 内科 155施設 (うち、開設者と直接関係ない医療機関 155施設) (2) 歯科 158施設 (うち、開設者と直接関係ない医療機関 158施設) 登録医療機関は別添3のとおり				

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	20床
--------------	-----

別紙4 救急医療の提供の実績

(救急医療を提供する能力を有することを証する書類)

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏 名	勤務の態様		勤務時間	備考
1	医師		常勤	専従	交代制	救急専門医
2	医師		常勤	非専従	交代制	
3	医師		常勤	非専従	交代制	
4	医師		常勤	非専従	交代制	
5	医師		常勤	非専従	交代制	
6	医師		常勤	非専従	交代制	
7	医師		常勤	非専従	交代制	
8	医師		常勤	非専従	交代制	
9	看護師		常勤	専従	交代制	
10	看護師		常勤	専従	交代制	
11	看護師		常勤	専従	交代制	
12	看護師		常勤	専従	交代制	
13	看護師		常勤	専従	交代制	
14	看護師		常勤	専従	交代制	
15	看護師		常勤	専従	交代制	
16	看護師		常勤	専従	交代制	
17	看護師		常勤	専従	交代制	
18	看護師		常勤	専従	交代制	

19	看護師		常勤	専従	交代制	
20	看護師		常勤	専従	交代制	
21	看護師		常勤	専従	交代制	
22	看護師		常勤	専従	交代制	
23	看護師		常勤	専従	交代制	
24	看護師		常勤	専従	交代制	
25	看護師		常勤	専従	交代制	
26	看護師		常勤	専従	交代制	
27	看護師		常勤	専従	交代制	
28	看護師		常勤	専従	交代制	
29	看護師		常勤	専従	交代制	
30	看護師		常勤	専従	交代制	

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	28床
専用病床	0床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救急外来（診察室・処置室）	93.21m ²	（主な設備）無影灯 他	可能
CT撮影室（2室）	99.83m ²	（主な設備）CT 他	可能

MRI撮影室 (2室)	90.17m ²	(主な設備) MRI 他	可能
X線検査室 (8室)	161.47m ²	(主な設備) X線撮影装置 他	可能
内視鏡室 (3室)	33.09m ²	(主な設備) 内視鏡装置 他	可能
血管撮影室 (4室)	190.08m ²	(主な設備) 血管撮影装置 他	可能
手術室(9室)	505.60m ²	(主な設備) 無影灯 他	可能
微生物検査室	92.13m ²	(主な設備) 遺伝子機器(LAMP法) 他	可能

4 備考

都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。

既に、救急病院等を定める省令(昭和39年厚生省令第8号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について(昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知)に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	7,582人 (3,345人)
上記以外の救急患者の数	5,722人 (1,000人)
合計	13,304人 (4,345人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

別紙 5 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

(地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明)

1 研修の内容

- (1) 看護師勉強会 (達人ナース勉強会)
 開催延べ数 1 回
 研修参加者延べ数 39 人
 うち当院参加者数 29 人 (医師 0 人、医師以外 29 人)
 うち院外参加者数 10 人 (医師 0 人、医師以外 10 人)
- (2) 清水循環器カンファレンス
 開催延べ数 2 回
 研修参加者延べ数 57 人
 うち当院参加者数 17 人 (医師 16 人、医師以外 1 人)
 うち院外参加者数 40 人 (医師 40 人、医師以外 0 人)
- (3) JMECC 講習会
 開催延べ数 1 回
 研修参加延べ人数 21 人
 うち当院参加者数 18 人 (医師 18 人、医師以外 0 人)
 うち院外参加者数 3 人 (医師 3 人、医師以外 0 人)
- (4) ICLS 講習会
 開催延べ数 3 回
 研修参加延べ人数 77 人
 うち当院参加者数 71 人 (医師 50 人、医師以外 21 人)
 うち院外参加者数 6 人 (医師 4 人、医師以外 2 人)
- (5) シミュレーターラボ室
 開催延べ数 16 回
 研修参加延べ人数 164 人
 うち当院参加者数 158 人 (医師 85 人、医師以外 73 人)
 うち院外参加者数 6 人 (医師 4 人、医師以外 2 人)
- 【計】
 当病院参加者数 293 人 (医師 169 人、医師以外 124 人)
 院外参加者数 65 人 (医師 51 人、医師以外 14 人)
 合計 358 人 (医師 220 人、医師以外 138 人)

※各研修会の目的、対象者、参加者数の実績は別添 5 のとおり

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	23 回
(2) (1) の合計研修者数	358 人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無 ☒ 有・無
- イ 研修委員会設置の有無 ☒ 有・無
- ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
	医師	循環器内科	病院長	45	研修委員会責任者
	医師	呼吸器内科	副病院長	37	
	医師	血液内科	副病院長	39	教育研修管理センター長 臨床研修プログラム責任者
	医師	脳神経外科	副病院長	40	
	医師	産婦人科	診療部長	35	
	医師	循環器内科	診療部長	35	
	医師	外科・消化器外科	診療部長	34	
	医師	腎臓内科	主任科長	36	
	医師	消化器内科	センター長	37	
	医師	整形外科	主任科長	34	
	医師	臨床検査科	主任科長	38	
	医師	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	主任科長	35	
	医師	呼吸器内科	科長	32	
	医師	緩和ケア内科	主任科長	32	
	医師	小児科	主任科長	34	
	医師	消化器内科	主任科長	41	
	医師	消化器内科	主任科長	37	
	医師	消化器内科	科長	17	
	医師	消化器内科	医長	15	
	医師	外科・消化器外科	医長	23	
	医師	外科・消化器外科	科長	32	
	医師	精神科	主任科長	19	
	医師	泌尿器科	主任科長	34	
	医師	産婦人科	科長	34	
	医師	外科・消化器外科	科長	30	
	医師	循環器内科	主任科長	29	
	医師	整形外科	科長	24	
	医師	呼吸器内科	科長	31	
	医師	小児科	医長	22	

	医師	病理診断科	主任科長	44	
	医師	病理診断科	医長	18	
	医師	心臓血管外科	主任科長	31	
	医師	循環器内科	医長	22	
	医師	救急科	主任科長	35	
	医師	麻酔科	主任科長	24	
	医師	外科・消化器外科	医長	20	
	医師	心臓血管外科	科長	35	
	医師	循環器内科	科長	25	
	医師	呼吸器内科	医長	19	
	医師	外科・消化器外科	医長	20	
	医師	脳神経外科	医長	18	
	医師	循環器内科	医長	17	
	医師	呼吸器外科	主任科長	23	
	医師	皮膚科	主任科長	14	
	医師	放射線治療科	主任科長	16	
	医師	消化器内科	医長	15	
	医師	心臓血管外科	医長	20	
	医師	心臓血管外科	医長	18	
	医師	形成外科	主任科長	16	
	医師	内分泌・代謝内科	診療部長	36	
	医師	腎臓内科	医長	18	
	医師	脳神経外科	科長	23	
	医師	麻酔科	医長	21	
	医師	麻酔科	医長	20	
	医師	呼吸器外科	医長	20	
	医師	眼科	主任科長	27	
	医師	麻酔科	医長	22	
	医師	整形外科	科長	22	
	医師	内分泌・代謝内科	医長	12	
	医師	放射線診断科	主任科長	15	

	医師	循環器内科	医長	13	
	歯科医師	口腔外科	主任科長	24	
	看護師	看護部	看護部長	38	
	看護師	看護部	副看護部長	36	
	看護師	看護部	技監	37	
	看護師	東 10 階病棟	看護師長	27	
	看護師	東9階病棟	看護師長	33	
	看護師	東8階病棟	技監	33	
	看護師	東7階病棟	看護師長	34	
	看護師	東6階病棟	看護師長	34	
	看護師	東5階病棟	技監	34	
	看護師	西9階病棟	技監	36	
	看護師	西8階病棟	看護師長	30	
	看護師	西7階病棟	看護師長	35	
	看護師	西6階病棟	看護師長	34	
	看護師	西4階病棟	看護師長	40	
	看護師	手術室	看護師長	26	
	看護師	救急外来	看護師長	32	
	診療放射線技師	放射線技術科	技師長	33	
	臨床検査技師	検査技術科	技師長	36	
	薬剤師	薬剤科	副技師長	17	

医師61名、歯科医師 1 名、看護師16名、放射線技師 1 名、検査技師 1 名、薬剤師 1 名 合計81名

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
講堂	165.86m ²	(主な設備) 机40台、椅子150脚、スクリーン、マイク一式、テレビ、ホワイトボード、プロジェクター
第1会議室	75.14m ²	(主な設備) 机14台、椅子30脚、プロジェクター
11B会議室	42.09m ²	(主な設備) 机6台、椅子18脚、ホワイトボード、プロジェクター
11C会議室	106.38m ²	(主な設備) 机16台、椅子48脚、スクリーン、プロジェクター
12B会議室	43.87m ²	(主な設備) 机8台、椅子24脚
多目的室	69.31m ²	(主な設備) 机12台、椅子36脚、ホワイトボード、プロジェクター
カンファレンスルーム	49.56m ²	(主な設備) 机3台、椅子22脚、スクリーン、プロジェクター、TV、ビデオ、固定式シャーカステン
シミュレーションラボ室	44.47m ²	(主な設備) 血管カテーテル操作シミュレーターVIST-C、シムマン3G、内視鏡外科手術シミュレータエンドワークプロII 他

別紙6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者氏名	病院長 小野寺 知哉		
管理担当者氏名	医事課長		

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		医事課 (診療情報管理室) 平成20年から電子カルテシステム導入	ターミナルデジット方式にて分類
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	総合相談センター	
	救急医療の提供の実績	救急外来	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	総合相談センター	
	閲覧実績	医事課	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	総合相談センター	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

別紙7 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者氏名	総務課長	
閲覧担当者氏名	総務課	
閲覧の求めに応じる場所	事業管理部総務課	
閲覧の手続の概要		
・病院の管理運営に関する情報は、静岡県情報公開条例により、各区役所地域総務課に請求書を提出し、静岡病院総務課にて審査・決裁を経て、各区役所地域総務課より開示する。 ・診療記録に関する情報は、静岡病院医事課に請求書を提出し、審査・決裁を経て開示する。		

前年度の総閲覧件数		78件
閲覧者別	医師	6件
	歯科医師	0件
	地方公共団体	0件
	その他	72件

別紙 8 医療法施行規則第9条19の委員会の開催の実績

委員会の開催回数	4 回	
委員会における議論の概要		
1 令和 5 年度病診連携総会 (1) 日時：令和 5 年 7 月 31 (月) 19:15 から (2) 場所：ホテルグランヒルズ静岡 2 令和 5 年度第 1 回静岡病院地域医療支援委員会兼病診連携協議会 (1) 日時：令和 6 年 2 月 8 日 (木) (2) 場所：静岡市立静岡病院 (3) 議題：病診連携について 3 令和 5 年度第 2 回静岡病院地域医療支援委員会 (1) 日時：令和 6 年 2 月 8 日 (木) (2) 場所：書面審議 (3) 議題：地域医療支援病院の要件と実績について 4 令和 5 年度第 3 回静岡病院地域医療支援委員会 (1) 日時：令和 6 年 2 月 26 日 (月) (2) 場所：書面審議 (3) 議題：病院の質の評価の報告 (第 3 者機関によるもの) 5 令和 5 年度第 4 回静岡病院地域医療支援委員会 (1) 日時：令和 6 年 3 月 13 日 (水) (2) 場所：書面審議 (3) 議題：病院の質の評価の報告 (患者満足度調査)		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

別紙 9 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・その他（ ）																
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	看護師 () () () 社会福祉士 () () 事務 ()																
患者相談件数	5,896件																
患者相談の概要																	
<table> <tr> <td>1 入院・入所調整</td> <td>1,556件</td> </tr> <tr> <td>2 在宅調整</td> <td>2,587件</td> </tr> <tr> <td>3 受診に関する相談</td> <td>121件 ✓</td> </tr> <tr> <td>4 経済的な問題</td> <td>379件 ✓</td> </tr> <tr> <td>5 その他機関との調整</td> <td>166件</td> </tr> <tr> <td>6 苦情</td> <td>38件</td> </tr> <tr> <td>7 その他</td> <td>1,049件</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>5,896件</td> </tr> </table> 相談内容に応じて、院内（医師、看護師、薬剤師、栄養士、コメディカル、事務等）と院外（診療所、病院、訪問看護ステーション、施設、行政等）の関係者との連絡調整を図り、問題解決に向けて積極的に働きかけている。		1 入院・入所調整	1,556件	2 在宅調整	2,587件	3 受診に関する相談	121件 ✓	4 経済的な問題	379件 ✓	5 その他機関との調整	166件	6 苦情	38件	7 その他	1,049件	合 計	5,896件
1 入院・入所調整	1,556件																
2 在宅調整	2,587件																
3 受診に関する相談	121件 ✓																
4 経済的な問題	379件 ✓																
5 その他機関との調整	166件																
6 苦情	38件																
7 その他	1,049件																
合 計	5,896件																

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

別紙 10 その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	☒ 有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構 令和6年4月5日認定（更新5回目） （平成15年11月17日新規認定） 卒後臨床研修評価機構（JCPEP） 令和6年5月1日認定（更新） （平成24年5月1日新規認定）	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	☒ 有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 ① 病院ホームページによる情報提供（随時） ② 病院広報誌の作成（4回） ③ 病院年報の発行（1回）	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	☒ 有・無
・退院調整部門の概要 入退院支援室 看護師9名、社会福祉士6名 各病棟に退院支援担当者を配置し、入院早期から患者と親族の意向を確認しつつ、病棟、診療所、病院、施設、ケアマネ等と連携をとりながら、患者がより良い退院後の環境に移れるように調整する。	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	☒ 有・無
・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 脳卒中、大腿骨頸部骨折、がん、心房細動、虚血性心疾患、前立腺がん ・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み 医師会診療所、リハビリテーション病院、急性期病院等と定期的にパスの内容やそれぞれの役割について開催される会議等に担当医師及び地域連携室スタッフ等が参加し、情報交換等を積極的に行うことで地域の関係者と顔の見える連携を深め、パスの推進を図っている。	